

## 平成 21 年度 活動報告書

### [ ]協議会内活動

#### 1. 第 12 回代表者会議

定時代表者会議は隔年開催の慣例により、会則第 12 条第 4 項の定めに従い平成 21 年 5 月 27 日に文書によって議案(第 1 号および第 2 号)を提案し、原案通り承認された。

#### 2. 世話人会の開催

東京都障害者福祉会館に於いて平成 21 年 4 月～22 年 3 月の間、隔月(奇数月)第 4 水曜日の開催を原則として定例的に 6 回の会議を開催した。会議では協議会の円滑な運営について協議を行った。

#### 3. 会報の発行

平成 21 年度は 3 回発行した(第 32 号・7 月、第 33 号・11 月、第 34 号・3 月)。

グループ紹介、協議会の活動状況報告、世話人会の開催状況などを協議会会員向けに広報するとともに外部関係者の理解を深めるのに役立てることが出来た。

#### 4. 原本教科書の早期共同入手活動

平成 21 年度は、関係団体のご協力を得ながら 204 件について教科書の提供を実施し、ますます増加傾向にある需要に対して会員およびその他ボランティア団体の円滑な製作活動に寄与することができた。

#### 5. 拡大教科書製作についての照会・紹介活動

22 年度用拡大教科書の照会件数は前年度に比べ減少傾向であった。3 月末までに延べ 81 名約 200 種拡大教科書についての照会があり、86.5%の 173 種について情報提供の対応を行うことが出来た。

その他拡大教科書に関する基本的な事項についての問い合わせ 32 件についても対応した。

### [ ]対外活動

#### 1. 文部科学省との交流

高校段階における拡大教科書標準規格検討会に参加し、ボランティアの立場から標準規格について意見具申することができた。特に現在提供されているデジタルデータ(PDF データ)に関する課題および高校段階の拡大教科書における製作費負担と普及促進に関わる課題について問題提起することが出来た。

#### 2. 教科書協会および全国教科書供給協会との交流

拡大教科書製作のための教科書の共同入手について、提供ルートおよび代金精算方式の改善対策は、教科書協会のご協力により関係業者への業務移行を円滑に実現することが出来た。

拡大教科書の製作費精算事務委託は、全国教科書供給協会のご協力により本年も円滑に実施出来た。

#### 3. 富士ゼロックス社との交流

富士ゼロックス社からは例年と同様のコピー機使用のご協力をいただくとともに、文部科学省から委託された「教科書デジタルデータ提供の在り方に関する調査研究事業」プロジェクトにも参加でき、ボランティアにとって使い勝手の良いデジタルデータの条件等について課題や要望を述べ、文部科学省へ提出される調査研究報告が効果的に機能するための提言・協力を行うことができた。

#### 4. ジャストシステム社との交流

拡大教科書製作に多く活用されているワープロソフトおよび OCR ソフトの無償提供の協力をいただきつつ、協議会活動への理解を推進した。

#### 5. 慶応義塾大学の高校段階の拡大教科書の在り方に関する調査研究に参加

文部科学省の委託研究事業として、慶応義塾大学の中野先生は「高校段階における弱視生徒用拡大教科書の在り方に関する調査研究」を進められ、このプロジェクトに参加して貴重な研究に協力することが出来た。

#### 6. 利用者への情報提供

協議会事務局は全国の学校・教育委員会等から拡大教科書に関する相談、問い合わせを受け、積極的に対応することが出来た。拡大教科書の依頼手続についての情報提供やアドバイスを行うことが出来た。

以 上